

令和5年度 第3回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：令和5年10月6日（金）10時00分～11時00分

場 所：尾道市立大学E棟1階120会議室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 萩原委員長、瀬戸委員、豊田委員、高垣委員、
藤井委員

その他の出席者

事務局（尾道市総務課） 山口総務課長、三木課長補佐兼係長、石井主任
オブザーバー 公立大学法人尾道市立大学 藤澤理事長兼学長、荒井理事兼副学長、
寺山理事兼事務局長、前田経済情報学部長
中村芸術文化学部長、灰谷日本文学科長
野田企画広報室長、土岸総務課長、
福田学務課長、
若松企画広報室長補佐兼企画広報係長

報告事項：1 令和5年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨について

議 題： 議 題

- (1) 公立大学法人尾道市立大学第3期中期目標について
- (2) 公立大学法人尾道市立大学第3期中期計画（原案）について
- (3) その他

【報告事項】

- 1 令和5年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨について

令和5年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について事務局から説明を行った結果、特に意見はなく、速やかに公開することとした。

【議 題】

- 1 公立大学法人尾道市立大学第3期中期目標について

公立大学法人尾道市立大学第3期中期目標について事務局から説明を行ったのち、委員から「P. 4 第4 教育研究等の質の向上に関する目標について、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの記載があるが、アドミッション・ポリシーの記載がなく、この文言を加えると3ポリシーが揃うので加えてもらいたい。」との意見があった。その後、

修正箇所を再度審議し、最終承認を受けたため12月議会に議案を提出することとした。

2 公立大学法人尾道市立大学第3期中期計画（原案）について

公立大学法人尾道市立大学第3期中期計画（原案）について、法人から説明を行った後、委員から次のような意見が出された。また、今後追加の意見がある場合は11月30日までに意見を提出してもらうこととした。

（委員）評価指標について、全体的に状況という文言を多用していて、学内の目標としてどのようなレベルを目指して大学を運営していくのかというのを共有するうえでは表現として弱い印象を受ける。

数値目標をもっと積極的に取り入れる等、単なる状況ではなく、改善状況や推進状況等を取り入れるといいと思う。少し文言を加えただけでも印象や学内意識は変わっていくと思う。評価指標の書き方を工夫してみるとよい。

（委員）第6（2）外部資金の獲得について、寄附金の記載がされていないが、評価指標には寄附金の状況とあるので、評価をするうえで、説明があればよいと思う。寄附は外部資金として大きな部分になると思うので今後の課題として記載するとよい。

（委員）国際交流に関する目標を達成するためにとるべき措置の評価指標では受入れの留学生のみの記載になっているので、送り出しにも力を入れるべき。

（委員）P.7（2）地域への学習機会の提供について評価指標では公開講座の開催状況とあるので、講座の開催回数が出てくると思うが、市民のニーズに沿った学習機会の提供に努めるとあるので、満足度の指標もいる。アンケートを実施してはどうか。

3 その他について、地方独立行政法人法の一部改正に伴う公立大学法人尾道市立大学の定款の一部改正について、尾道市12月議会に議案を提出することを報告した。

また、第3回評価委員会の議事要旨について原案ができ次第電子メールで確認を依頼することとした。

その他、委員から「中期計画には明記していないが、尾道市立大学が今後どのような方向へ向かっていくのかを話し合う場を設け、大学が全国的に生き残るためにどうあるべきか考えていく必要がある。」という意見が出された。